

東京工業高等専門学校		開講年度	令和04年度（2022年度）		授業科目	English Skills for the Workplace（2022年度以降入学生用科目）
科目基礎情報						
科目番号	0030		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	物質工学専攻		対象学年	専1		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	適宜プリントを配布する。					
担当教員	向山 大地					
到達目標						
英語を用いて、異なる文化圏の相手とともに課題解決に向けて共同作業や議論などができることを目指す。また、現代社会が抱える問題について、技術者としての自分の意見を明確に英語で伝えられるようになる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安 (A評価)	標準的な到達レベルの目安 (B評価)	最低限の到達レベルの目安 (C評価)	未到達レベルの目安 (D評価)		
評価項目 1	英語を用いて、あるテーマ (SDGs含む)について自分の考えを高度に相手に伝えることができる。また、相手の話に問いかけを行い、お互いに内容を深めることができる。	英語を用いて、あるテーマ (SDGs含む)について自分の考えをまとめた分量相手に伝えることができる。また、相手の話に簡単な問いかけを行うことができる。	英語を用いて、あるテーマ (SDGs含む)について自分の考えを簡単に相手に伝えることができる。また、相手の話に適度に相槌を打つことができる。	英語を用いて、あるテーマ (SDGs含む)について自分の考えを相手に伝えることができない。また、相手の話に反応することができない。		
評価項目 2	英語を用いたグループでのプレゼンテーションにおいて、グループメンバーを牽引して発表内容を作成し、スライドなどを利用して聴衆に高度な内容を伝えることができる。	英語を用いたグループでのプレゼンテーションにおいて、グループメンバーと協力して発表内容を作成し、スライドなどを利用して聴衆に効果的に内容を伝えることができる。	英語を用いたグループでのプレゼンテーションにおいて、グループメンバーと協力して発表内容を作成し、スライドなどを利用して聴衆に内容を伝えることができる。	英語を用いたグループでのプレゼンテーションにおいて、グループメンバーと協力して発表内容を作成し、スライドなどを利用して聴衆に内容を伝えることができない。		
評価項目 3	連結・脱落・同化などの音の変化を理解し、発話・聞き取りにおいて実践できる。また、英語のイントネーションを理解し、発話において高度に実践できる。	連結・脱落・同化などの音の変化を理解し、発話において実践できる。また、英語のイントネーションを理解し、発話において実践できる。	連結・脱落・同化などの音の変化を理解できる。また、英語のイントネーションを理解できる。	連結・脱落・同化などの音の変化を理解できない。また、英語のイントネーションを理解できない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	本講義では、海外インターンシップや海外の研究者と交流をもつことを想定して、主に英語のスピーキング/リスニングの能力向上に主眼を置き、総合的な英語コミュニケーション能力向上を目指す。主に以下の点に重点を置く。1. 中身のある自分の意見を英語で表明できること。2. 他者と共同作業を行い、人をひきつける、説得力のある英語プレゼンテーションを行えるようになること。3. 英語の発音・リズムを身に付け、英語らしい音が作れるようになること。					
授業の進め方・方法	本科目は講義に分類されるが、知識の習得より実践を重要視する。毎回トークテーマ(SDGsテーマを含む)を設定し、英語でペアワークを行う。また、中間・期末の区切りでそれぞれプレゼンテーションを行う。					
注意点	間違いを恐れず大きな声で英語を使い、積極的に授業に参加することを期待する。週に一回の英語を使う機会を最大限に活かすため、予習・復習は必須である。特に復習については学修課題として別途指示する。また、本科目は学習者の習熟度にあった指導を行うため、TOEICスコアを指標としてクラスを2つに分けて実施する。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction 自己紹介ゲーム		簡単な自己紹介を英語で行うことができる。	
		2週	Finland学生交流準備		Finland学生交流にむけて内容を整理する	
		3週	発音練習（リンキング/弱形）		英語の音声特徴（リンキング/弱形）について理解し、使用することができる。	
		4週	Finland学生交流準備		Finland学生交流にむけて内容を整理する	
		5週	説得・交渉		相手の話を聞いた上で論点を整理し、自分の意見を主張することができる。	
		6週	映画/テクノロジー		テクノロジーをテーマとした映画について感想を述べ合い、相手とコミュニケーションをとることができる。	
		7週	電話表現		電話における会話表現が使えるようになる。	
		8週	プレゼンテーション（個人）		聴衆に伝わるプレゼンテーションを行うことができる。	
	2ndQ	9週	日本文化紹介/文化的ステレオタイプ		他文化からの視線を意識した上で、自分の視点から日本文化について紹介することができる。	
		10週	発音練習（リズム）		英語の音声特徴（リズム）について理解し、使用することができる。	
		11週	本の紹介		自分のオススメの本の魅力を相手に伝えることができる。	
		12週	言い換え練習		ある語彙について、その語を使わずに他の語彙を用いて伝えることができる。	

		13週	研究紹介	自分の研究テーマについて英語で紹介することができる。また、技術的な疑問点を質問することができる。
		14週	ゲストトーク	ゲストの話を聞いて、リンガフランクとしての英語について理解を深める。また、相手の話に英語で質問できる。
		15週	プレゼンテーション（グループ）	他者と協力しあい、聴衆に伝わるプレゼンテーションを行うことができる
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	課題記録	その他	合計
総合評価割合	0	50	10	20	20	0	100
基礎的能力	0	50	10	20	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0